

問 図書室運営で、コロナ禍の影響による利用者の推移について問う。また、東地域に本の返却や予約本の受け取り窓口を設置することについて、考えを問う。

答 令和3年度においてはコロナ禍前の水準に戻ってきている。基本は図書室に来て目的の本以外にも触れて借りていただくことと考えるが、返却に関しての窓口については前向きに議論し考えたい。

問 高原マラソンに変わる能勢クロスカントリーがコロナ禍の影響で中止になっている。次年度はコロナ禍に対応する事業を考えているのか問う。

答 自然災害とコロナ禍の影響を受け数年開催されていない高原マラソンについては発展的に解消とした。それに代わるクロスカントリーの試走開催予定であったがコロナ禍で中止した。令和4年度は再開したいと考えている。

学校教育総務課：英語教育推進事業、学力向上支援事業、外国人教師招致事業、学校施設管理事業、ICT教育環境整備事業、児童就学援助費、学力向上支援事業、職場体験事業、通学の安全対応、奨学金基金等

生涯学習課：生涯学習講座事業、児童館推進事業、成人式、浄るりシアター自主事業、浄るりシアター施設整備事業、B&G海洋センター・名月グランド運営管理、文化保存事業、文化財説明版整備保守事業、子ども会育成会等

◇令和3年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

9月26日に委員会を開催し、決算内容を審査しました。

国民健康保険加入者への新型コロナウイルス感染症に対する健康増進給付金、令和6年度からの広域化、保険税から保険料の変更点等についての質疑の後、討論は無く採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

続いて、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について令和3年度の決算内容を審議し、それぞれ質疑の後、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

予算常任委員会報告

9月15日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第5号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。

「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第5号)」は討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 新型コロナウイルス感染症の自宅療養への支援事業として、4月の補正で50万円が計上されていたが今回100万円の補正である。経緯を問う。

答 4月補正予算で新型コロナウイルス感染症の自宅待機者の緊急支援として、食料支援費50万円の100人分を想定していたが、7月からの感染拡大があり100万円の200人分の支援を想定し予算計上するものである。7月末で68人、8月には120人の支援を行っている。

問 のせ保育所の施設整備事業費238万円について説明を求める。

答 衛生面の向上を図るため、紙おむつを真空パックで処理する器具の購入を行うものである。及び、給食調理室の三層シンクが水漏れを起こしており、交換するものである。

問 新型コロナウイルスワクチン接種に係る委託料について、それぞれの内容を問う。

答 4件の委託料として、1点目、町内医療機関で4回目新型コロナウイルスワクチン接種を追加で行う委託料。2点目、集団接種会場への運転業務委託料。3点目、予診票等の電算改修費用。4点目、ワクチン接種のコールセンターでの予約及び集団接種会場の設営・運営にかかる委託料として計上している。

問 森林環境学習標識設置について問う。

答 都市部と里山としての能勢町との交流を図る事業として、登山道等に、能勢の自然や生物多様性等を説明する標識10ヶ所程度を設置するものである。

続いて、予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)」、「令和4年度能勢町下水道事業特別会計補正予算(第2号)」の内容を審議し、質疑、討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。(採決の結果は本会議ページ参照)